

服用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

03

かぜ薬

第2類医薬品

のどの痛み、熱、せき、鼻水に効く

ルルアタック[®]IB

《特徴》

- イブプロフェン、ブロムヘキシン塩酸塩、クレマスチンフマル酸塩などを配合したかぜ薬です。
- 解熱鎮痛成分「イブプロフェン」が、熱を下げ、頭痛やのどの痛みを緩和します。
- 去痰成分「ブロムヘキシン塩酸塩」が、せきの原因のひとつとなるたんを出しやすくします。
- 持続性抗ヒスタミン成分「クレマスチンフマル酸塩」が、アレルギー症状による鼻水を抑えます。
- 鎮咳成分「ジヒドロコデインリン酸塩」が、せきを鎮めます。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- (3) 15歳未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい

(眠気があらわれることがあります。)

4. 服用時は飲酒しないで下さい

5. 5日間を超えて服用しないで下さい



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 授乳中の人
- (4) 高齢者

- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (7) 次の症状のある人
高熱、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (9) 次の病気にかかったことのある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合
(特に熱が3日以上続いたり、また熱が反復したりするとき)

3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい


口のかわき、便秘、下痢



■ 効能・効果

かぜの諸症状（のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、せき、たん、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

■ 用法・用量

年 齢	1回服用量	1日服用回数
成人（15歳以上）	3錠 	3回 食後なるべく30分以内に服用して下さい
15歳未満	服用しないで下さい	

〈用法・用量に関連する注意〉

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）。



■ 成 分

《ルルアタックIB》は、白色～帯黄白色のフィルムコーティング錠で、9錠（成人1日量）中の成分及び作用は次のとおりです。

成 分	含 量 (9錠中)	作 用
イブプロフェン	450 mg	熱を下げ、のどの痛み、頭痛、関節・筋肉の痛みを緩和します
ブロムヘキシン塩酸塩	12 mg	せきの原因のひとつとなるたんを出しやすくします
クレマスチンフマル酸塩	1.34mg (クレマスチンとして1mg)	かぜのアレルギー症状(鼻水、くしゃみ)を抑えます
ジヒドロコデインリン酸塩	22 mg	せき中枢に作用し、せきを鎮めます
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60 mg	気管支をひろげ、せきを鎮めます
無水カフェイン	75 mg	頭痛をやわらげます

添加物：セルロース、無水ケイ酸、クロスCMC-Na、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール

■ 保管及び取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
4. ぬれた手で取り扱わないで下さい（本剤はフィルムコーティング錠のため、水分が錠剤につくと、表面のフィルムコーティング層が一部溶けて、変色又は色むらを生ずることがあります。）。
5. 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室
〒103-8541 東京都中央区日本橋小網町1-8
電 話 03 (6667) 3232
受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ルルについて詳しくは <http://www.lulu.jp/>

03 登録商標

販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋小網町1-8
ホームページ <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

製造販売元
大洋薬品工業株式会社
名古屋市千代田区太閤一丁目24番11号